

備前市事務事業評価表

事務事業名	体力づくり推進事業（吉永）	コード	担当課	市民スポーツ課（吉永）
		03-02-06-09	担当者	光友公昭
事業実施期間	平成17年度		電話	84-3776
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	スポーツ・レクリエーション		
	施策	スポーツの普及活動と指導者の養成・確保		

事業について	
目的	スポーツ大会・スポーツ教室を通じ、多くの人々が「体を動かす」機会や場所を提供し、スポーツの楽しさ、ルールを知ってもらい、技術の向上はもとより、子供においては青少年健全育成、成人には健康の増進及び仲間づくりの場となることを目指す。
対象（誰のために）	スポーツを始めたい人、スポーツを楽しみたい人、スポーツの出来る人なら誰でも。
内容	スポーツフェスティバル・スポーツ教室・バレー大会・少年剣道大会・海洋スポーツ普及大会

事業の結果								
実施項目		17年度						
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)	
スポーツフェスティバル		130	人					
スポーツ教室		40	人					
バレー大会		59	人					
剣道大会		337	人					
海洋スポーツ普及大会		80	人					
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	432	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	4,515	受益者負担	28	人件費		受益者負担	
	合計	4,947	市債		合計	0	市債	
必要人員	0.90	人						
結果指標①	結果指標名	スポーツフェスティバル参加者						
	結果指標量	130						
	単位	人						
	対前年比	—						
結果指標②	結果指標名	事業費		187,626		円		
	結果指標量	単位当たりコスト①		1,443		円		
	単位	人						
	対前年比	—						
結果指標③	結果指標名	海洋スポーツ普及大会参加者						
	結果指標量	80						
	単位	人						
	対前年比	—						
事業の成果	事業費	118,284		円				
	単位当たりコスト②	1,479		円				

事業の成果	
成果指標名	延べ参加者数
式又は説明	各大会・教室参加者数
17年度	646
対前年比	—
到達目標値	700
到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	コ スポーツを楽しむ市民からもニーズが強く、技術の向上だけでなく、ライフサイクルの中での健康増進や仲間づくりの場となっている。また、年間を通じての各種大会においては、多くの参加者があり、継続的に推進していく必要がある。今後ともニュースポーツの普及や、各個人の適性にあったやってみようスポーツと出会う機会を増やしていく。	評価区分 <A~E> B
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 150	結果指標量② 100
目標値	結果指標量 700	

改善事項	
評価の視点	改善内容
有効性	体育指導員や体育協会と連携し教室等の実施と参加の推進 平成18年度 個々の健康保持とスポーツ人口の拡大

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。